



企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



代表取締役
谷岡 弘邦

廃棄物を資源へ！我が国から世界へ！

当社は、これまで、国際スポーツビジネスにより欧米・東南アジア各国との強固なコネクションを構築し、地域活性化や官民連携によるまちづくりを中心とした行政コンサルティングを通じて、全国各地の課題解決に取り組んでまいりました。その中で、深刻化する最終処分場のひっ迫や環境負荷の増大という社会課題に対し、独自技術「遠赤外線触媒還元工法による焼却灰・廃プラスチック等の無害化・再資源化装置（ROXs）」を使って、廃棄物の再資源化・焼却灰の有効利用を可能にするリサイクル事業に進出します。このROXsシステムによるリサイクル事業を、当社グループにおいて、行政コンサルティング・国際スポーツビジネスに次ぐ3つ目の柱として戦略的に成長させて行きます。そして、廃棄物処理をリサイクルへと昇華し、従事する方の待遇改善はもちろん、関係者が誇りを持って語れる・働ける事業へと変革させます。

売上高100億円実現の目標と課題

実現目標

2034年に売上100億円達成に向けて、年率平均19%程度の成長を目指し、国内展開、海外展開、人と地域をつなぐ、3つのフェーズで事業展開を進めます。

課題

- ・ROXsの実用化による処理の推進
- ・技術・営業人材の育成
- ・企業、自治体との営業ルート構築
- ・海外政府との関係構築

売上高100億円実現に向けた具体的措置

目指す成長手段

- ①国内拠点の拡充（東西2極体制）
新たに広島と宮城に新工場を新設し、東西2極体制とし、ROXsシステムを使ったリサイクル事業を展開します。
- ②地域連携と自治体営業の強化最終処分場の容量逼迫という全国共通課題を背景に、環境省や自治体との連携を強化し、ROXsシステムの社会実装を促進します。
- ③海外市場への展開
国際スポーツビジネスにより培ってきた海外ネットワークを活かし、欧米・東南アジア諸国を中心にROXsシステムの導入を推進します。

実施体制

- ①新事業の中核機能強化
「環境事業部（仮称）」を新設し、国内外を含めた事業戦略の策定、進行管理、人事・教育体制の統括を担います。
- ②グループ内の企業の活用とノウハウ移転
弊社のグループ会社として、産業廃棄物処理を手掛ける㈱輝陽を通じて、人材育成やシステム改良を進めます。新設予定の広島工場と宮城工場は、本社主導で施設整備を行い、輝陽の人材を核にして、事業のノウハウを伝承、発展させます。
- ③人材戦略
グループ全体で、技術・営業・管理の各分野での人材を体系的に育成する仕組みを整備します。



Reduction of Oxidations（ROXs）システム

- 本社所在地：東京都千代田区
- 事業概要：行政コンサルティングと国際スポーツビジネスを展開。社会貢献を目指して、環境（廃棄物のリサイクル処理）ビジネスにも進出
- 常時使用する従業員：15人（7年6月）
- 現在の売上高：22億円（6年6月期）
- 法人番号：1040001091182
- Web：https://www.live-link.life/

売上高100億円実現の目標と課題・対応策

<目標>

2034年に向けて、年平均19%の成長を持続し、以下の3軸で事業展開を進めます。

①国内展開

ROXsシステムを稼働させ、焼却灰や廃プラなどの無害化・再資源化ニーズに応えます。

②海外展開

廃棄物問題に悩むアジア諸国を中心に、政府・関係省庁との連携を深め、ROXsシステムの導入を推進します。

※マレーシアにはCB100%出資のデックワークスマレーシア社があり、先行してボルネオ島の自治政府と協議中。

③人と地域をつなぐ

廃棄物処理を単なる“後処理”から、資源循環の中核産業へと昇華させ、関わる人が誇りを持てる新しい産業文化を創出します。

<課題と対応策>

課題①ROXsの稼働

→東西2拠点体制（広島・宮城）で事業拠点を整備し、全国対応可能なリサイクル事業体制を構築します。

課題②技術・営業人材の育成

→輝陽での先行ノウハウを横展開し、地域人材を育成するとともに、職業訓練・研修体制も強化します。

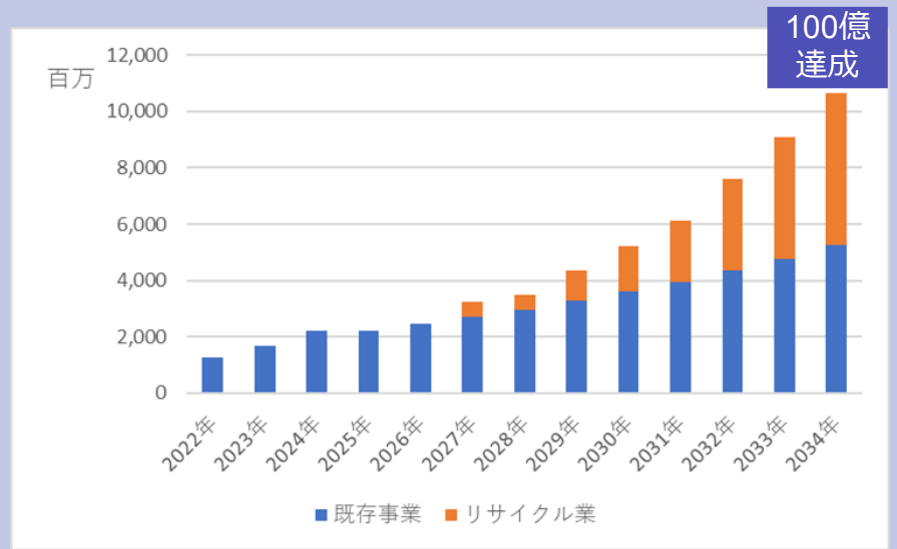
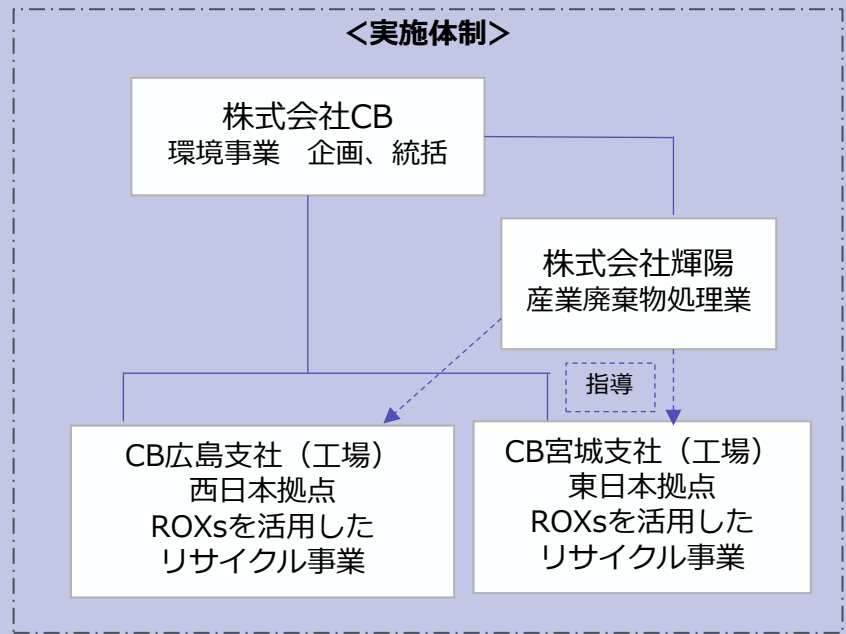
課題③自治体との営業ルート構築

→行政コンサルティングで培った自治体ネットワーク、国際スポーツビジネスにおける広告出稿主である大手企業のネットワークを通じて導入実績を拡大します。

課題④海外政府との関係構築

→国際スポーツビジネスで培った海外ネットワークによる 欧米・東南アジア各国の政府関係者との直接的なコネクションにより初動を構成し、JICA・JETRO等の公的機関との連携により、パイロット導入から本格展開へと繋がります。

<実施体制>



遠赤外線触媒還元工法による焼却灰・廃プラスチック等の無害化・再資源化装置（ROXs）

- ROXsとは、遠赤外線と触媒を使用して化学反応を起こすことで、焼却灰や廃プラスチック・汚泥などの処理を行うものです。重要な点は、重金属などの有害物資の溶出も防ぐことができることです。
- **低酸素状態での還元工法のため、燃焼工程が無く、ほぼCO2排出のない減容化・無害化が可能です。**
- また、これらの処理によって生成される材料は、水質浄化剤、乾燥剤、コンクリート強化剤、地盤改良剤、耐火煉瓦などへ再資源化が可能です。
- CBグループでは、まず100%子会社である株式会社輝陽（広島県北広島町）において、本システムによる医療系産業廃棄物の減容化を実施（令和7年2月27日設置許可）しています。この減容化における実用化事例により、これまでより加速度的に廃棄物等の完全リサイクル化への研究開発・実用化検証を進めているところです。
- 遠赤外線触媒還元工法を用いた減容化・無害化処理については廃棄物の種類及び処分量によって前処理技術（破碎・粉碎や高温高压蒸気処理等）と組合せて最適な再資源化方法を導き出します。

